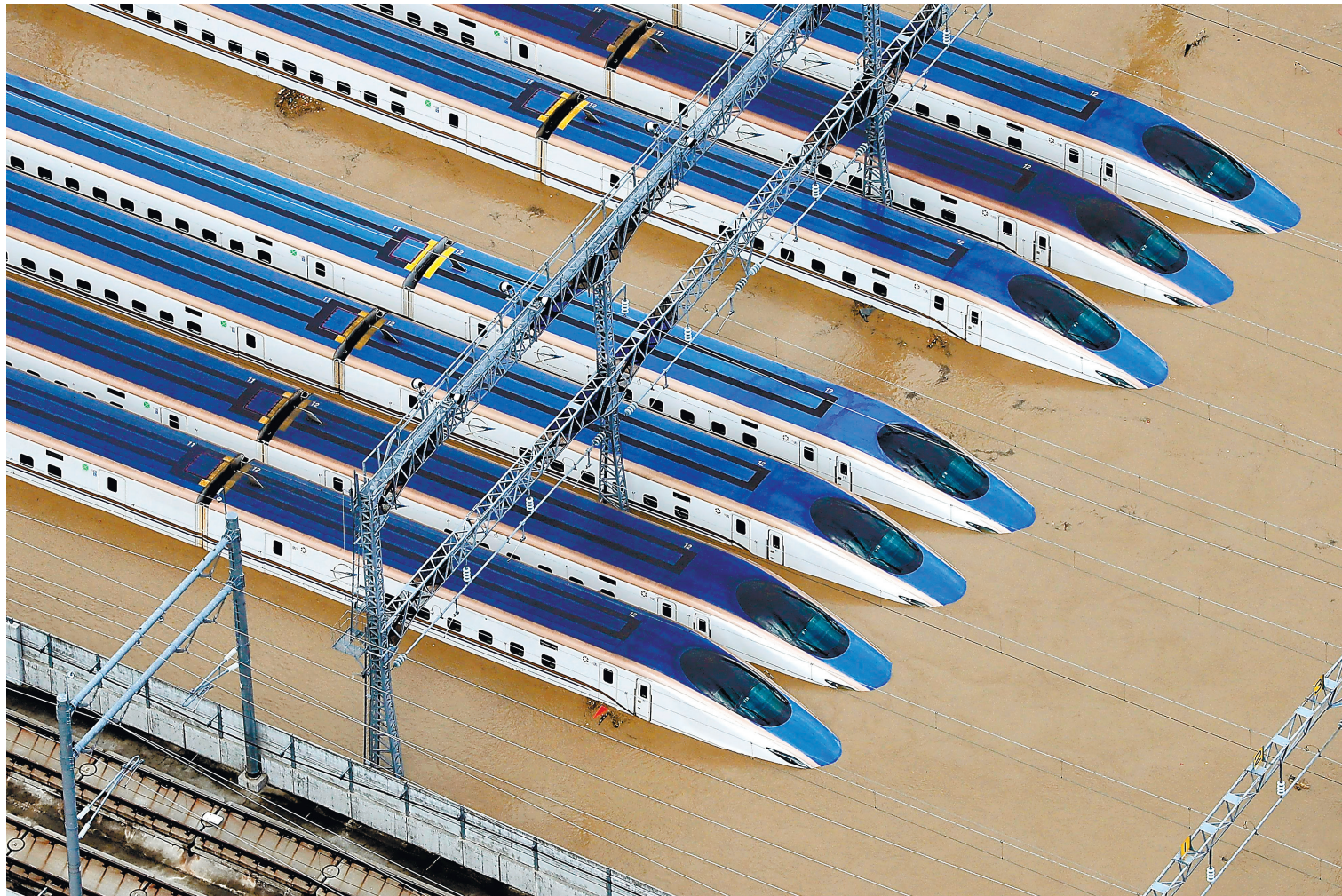
速報 北國新聞 2019年（令和元年）10月13日（日）

北陸新幹線 車両水没

長野、千曲川決壊で 終日運休

台風19号による大雨で水に漬かった車両基地に並ぶ新幹線＝13日午前8時6分、長野市赤沼（共同通信社ヘリから）

台風19号による記録的大雨の影響で、JR東日本の「長野新幹線車両センター」が水没し、北陸新幹線の車両10編成が水につかった。千曲川の堤防決壊で、大量の水が流入したとみられる。地区一帯が浸水しており、詳しい状況が確認できるめどが立たないという。

JR東日本によると、水につかったのは、JR東が保有するE7系8編成とJR西日本が保有するW7系2編成。北陸新幹線は通常、E7系19、W7系11の計30編成で運用しており、3分の1が被害を受けたことになる。

同センターはJR長野駅の北東約10キロの新幹線の沿線にある。

JR西によると、水没の影響で北陸新幹線の「かがやき」と「はくたか」は13日の終日運休が決定。金沢—富山間の「つるぎ」は通常運転する。

14人死亡16人不明

また、猛烈な雨の影響で、東京の多摩川など各地の河川で氾濫・増水が発生し、土砂災害で孤立する地域が続出した。これまでに共同通信の集計で14人が死亡、16人が行方不明。負傷者も多数に上った。